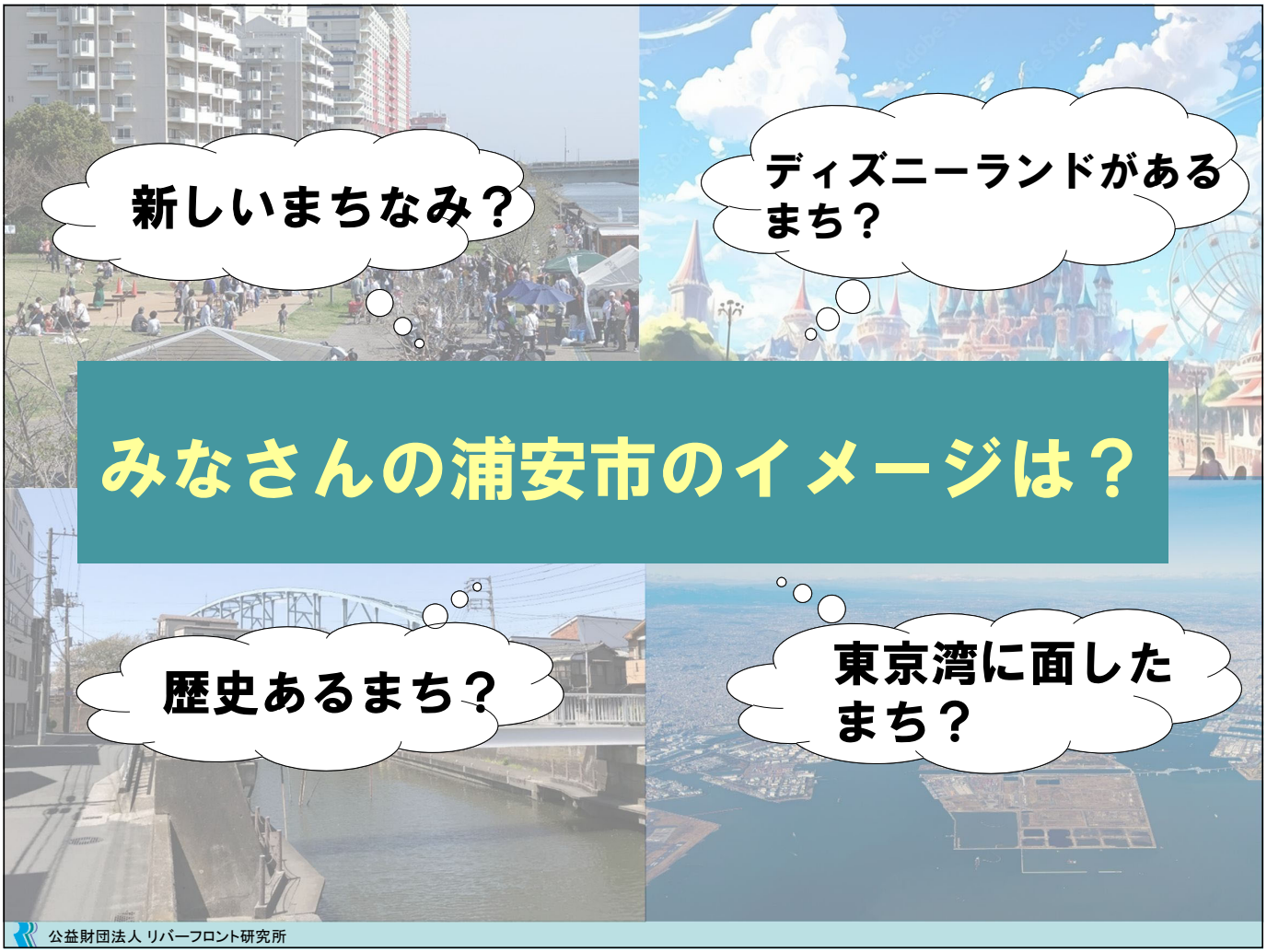
境川かわまちづくり推進検討
～境川かわまちづくりの活動内容と現状評価～

水循環・まちづくり・防災グループ
研究員　仁田原 汀

公益財団法人 リバーフロント研究所



みなさんの浦安市のイメージは？

公益財団法人 リバーフロント研究所

発表の内容

1.研究の背景

2. 計画の概要

3.社会実験の概要と分類

4.分析・評価

5.今後の課題と方向性

発表の内容

1.研究の背景

2. 計画の概要

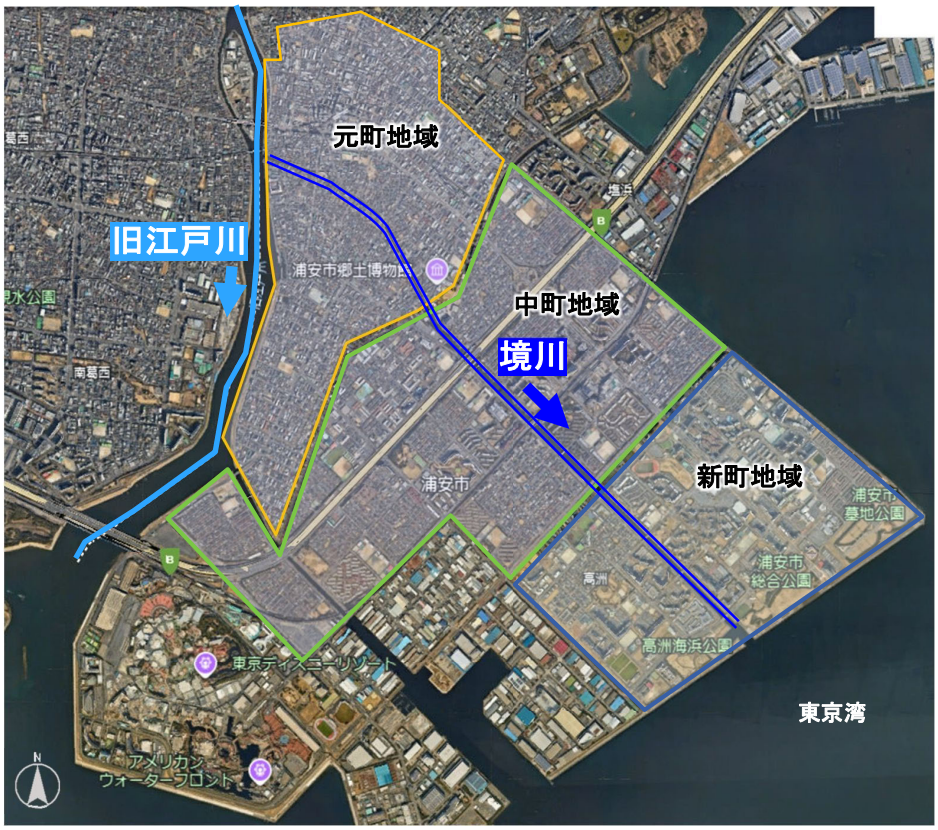
3.社会実験の概要と分類

4.分析・評価

5.今後の課題と方向性

発表の内容

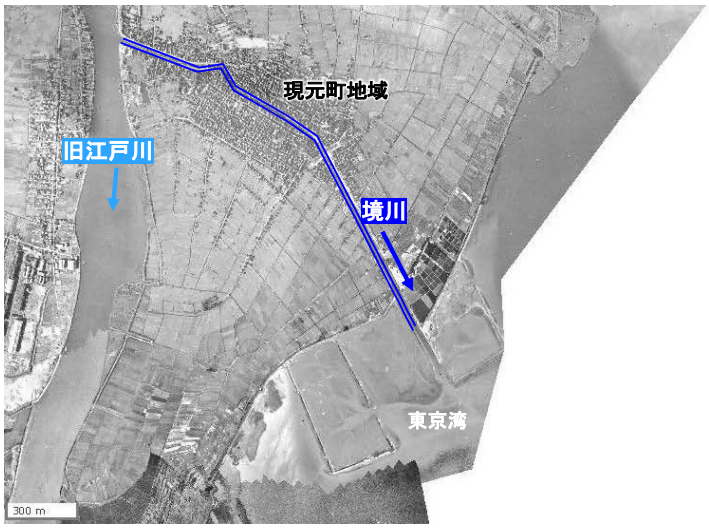
浦安市と境川の概要



延　長	約4.8km
流域面積	6.8㎢
管　理	千葉県

発表の内容

境川の概要



昭和40年代の浦安航空写真

昭和44年代の境川

1.発表の背景

境川の概要

1.発表の背景

支援制度登録までの経緯

年度	検討内容
平成30年度	・境川修景整備方針検討
平成31年度	・境川修景整備基本計画策定
令和2年度	・境川・市役所周辺エリア改修検討
令和3年度	・かわまちづくり計画策定の方針決定
令和4年度	・境川かわまちづくり計画素案作成
令和5年度	・「境川かわまちづくり計画【長期構想】」と 「境川かわまちづくり（第１期）計画」のとりまとめ
令和6年度	・「境川かわまちづくり計画【長期構想】」及び 「境川かわまちづくり（第１期）計画」の計画策定 ・各種社会実験の開始 ・「かわまちづくり」支援制度への申請・登録
令和7年度	・各種社会実験の継続実施 ・推進体制の構築検討

境川修景整備方針検討

1.発表の背景

本研究の目的

これまでの活動実績をもとに、
現状の評価と今後の課題・方向性を考察する。

1.発表の背景

評価の方法

定性的評価

調査方法
①一般市民へのアンケート調査
②関係者会議での意見

評価項目
①一般市民や関係者の意識変化
②運営体制・関係性の構築状況

定量的評価

調査方法
①社会実験の参加者数の推移
②市民の「境川かわまちづくり」認知度の推移

評価項目
①かわまちづくり推進における活動の浸透状況

総合評価

- 境川かわまちづくりの現状の評価
- 今後の課題・方向性の考察

発表の内容

1.研究の背景

2. 計画の概要

3.社会実験の概要と分類

4.分析・評価

5.今後の課題と方向性

2.境川かわまちづくりの計画の概要

「かわまちづくり」とは

「河川空間」と「まち空間」が融合した
良好な空間を形成し、河川空間を活かして
地域の賑わい創出を目指す取組

「かわまちづくり」支援制度とは

「かわまちづくり計画」を市町村等が河川管理者と
共同で作成し、申請・登録することで、
ハード施策・ソフト施策の支援が行われる

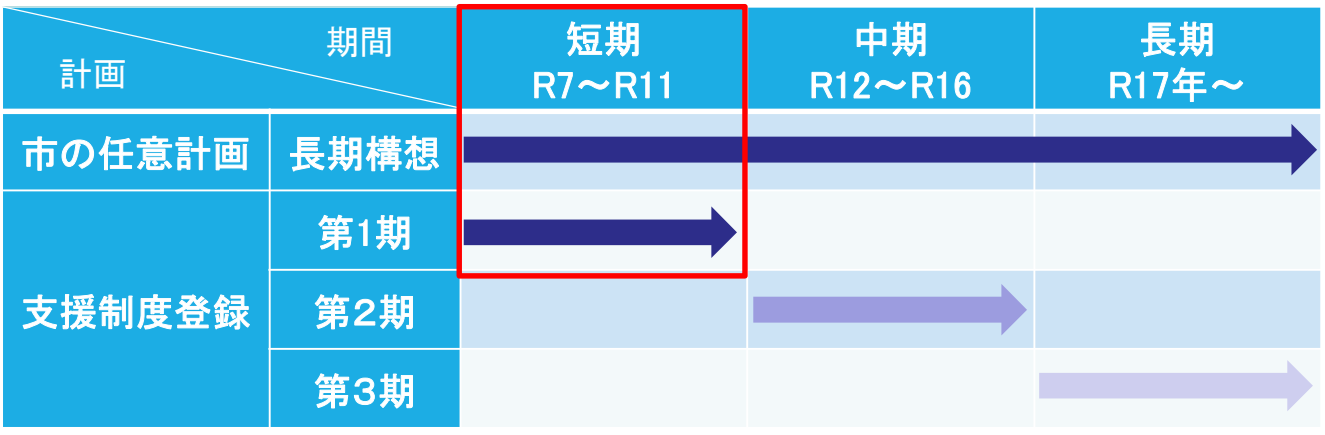
→実施期間は、概ね5年程度が目安

2.境川かわまちづくりの計画の概要

境川かわまちづくり計画の概要

●対象範囲：境川全川及びその周辺エリアを含む範囲

●将来的な境川を見据え、
① 境川かわまちづくり（第１期）計画
② 境川かわまちづくり計画【長期構想】
の2種類の計画を作成



5年間の計画ではなく、長期的に推進

2.境川かわまちづくりの計画の概要

浦安の背骨　境川

基本方針①「水・自然環境」

かつての境川の自然環境と生物の再生！

－楽しみ、学びの場に－

基本方針②「歴史・文化」

浦安境川の歴史・文化の発信！

－みんなに愛される境川へ－

基本方針③「水辺・水面活用」

いつも人々が楽しみ、集い、交流する賑わいづくり

―体験、イベント、商業の拠点に―

2.境川かわまちづくりの計画の概要

境川かわまちづくり計画の基本方針

基本方針①「水・自然環境」

かつての境川の自然環境と生物の再生！

－楽しみ、学びの場に－

水門の開閉実験

河川の清掃活動への取組

ハゼ釣り教室

多自然川づくりへの取組

河川の水質浄化への取組

花とみどりと生命のネットワークづくり

2.境川かわまちづくりの計画の概要

境川かわまちづくり計画の基本方針

基本方針②「歴史・文化」

浦安境川の歴史・文化の発信！
ーみんなに愛される境川へー

観光ツアープログラムの開発

市民団体等で開催する水辺イベントの活性化

2.境川かわまちづくりの計画の概要

境川かわまちづくり計画の基本方針

基本方針③「水辺・水面活用」

いつも人々が楽しみ、集い、交流する賑わいづくり
ー体験、イベント、商業の拠点にー

オープンカフェ、マルシェ等の事業化

アウトドア・水上アクティビティの事業化

発表の内容

1.研究の背景

2. 計画の概要

3.社会実験の概要と分類

4.分析・評価

5.今後の課題と方向性

3.社会実験の概要と分類

社会実験の目的
境川をどのように活用できるかを実際に試しながら、運営体制や利用ルール、事業性を検証すること。

回	イベント名	実施日程	基本方針
1	第26回浦安市民まつり	令和6年4月27日,28日	「歴史・文化」「水辺・水面活用」
2	境川で天の川・水辺で乾杯	令和6年7月6日,7日	「歴史・文化」「水辺・水面活用」
3	親子はじめてのハゼ釣り教室	令和6年7月28日	「水・自然環境」
4	第22回境川クリーンアップ	令和6年9月29日	「水・自然環境」
5	MIZUBEミュージック	令和6年9月29日	「歴史・文化」
6	第11回Eボート千葉県大会in浦安	令和6年10月27日	「水辺・水面活用」
7	浦安景観まちづくり先進事例見学会	令和6年11月5日	「歴史・文化」
8	第23回境川クリーンアップ	令和6年11月17日	「水・自然環境」
9	水質浄化社会実験	令和7年2月10日	「水・自然環境」
10	浦安市文化財めぐり	令和7年3月15日	「歴史・文化」
11	かわまちづくり登録記念イベント	令和7年3月29日,30日	ー
12	境川みんなのかわまち春	令和7年4月26日,27日	「歴史・文化」「水辺・水面活用」
13	境川で天の川・水辺で乾杯	令和7年7月6日,7日	「歴史・文化」「水辺・水面活用」
14	水質浄化社会実験	令和7年7月～（月1回程度実施）	「水・自然環境」

基本方針に基づいた社会実験の実績（令和6～7年度）

3.社会実験の概要と分類

水質浄化社会実験（R7年2月～）

3.社会実験の概要と分類

境川みんなのかわまち春（R7年4/26,27）

3.社会実験の概要と分類

会場の様子（R6年）

会場の様子（R7年）

キッチンカー出店

水辺で乾杯

境川で天の川・水辺で乾杯（R6年7/6,7・R7年7/6,7）

3.社会実験の概要と分類

YouTubeで公開中！

境川かわまちづくり登録記念イベント（R7年3/30）

発表の内容

1.研究の背景

2. 計画の概要

3.社会実験の概要と分類

4.分析・評価

5.今後の課題と方向性

4.分析・評価

定性的評価

①一般市民からのアンケート結果

- かわまちづくりの活動に賛同する。
- できる事があれば、協力したい。

②関係者会議での意見

- にぎわいの創出が図られた一年だった。
- 情報共有・情報発信が円滑になった。
- メンバー間の信頼関係が構築されてきた。

4.分析・評価

定性的評価

①一般市民からのアンケート結果
- 日常的に境川関われる機会やイベントがあるとよい
（継続的な市民参加の場づくりが必要）

②関係者会議での意見
- 境川で活動をする際に活動に関する提案や意見は挙がっているが、現時点では正式な合意形成の流れは構築されていない
（意思決定フローの不安定さ）

- 継続的な活動のためにプレイヤーを増やしていく必要がある。
（かわまちづくりの認知度を高め、より多くの市民や団体がプレイヤーとして関わることができる環境づくりが必要）

4.分析・評価

定性的評価

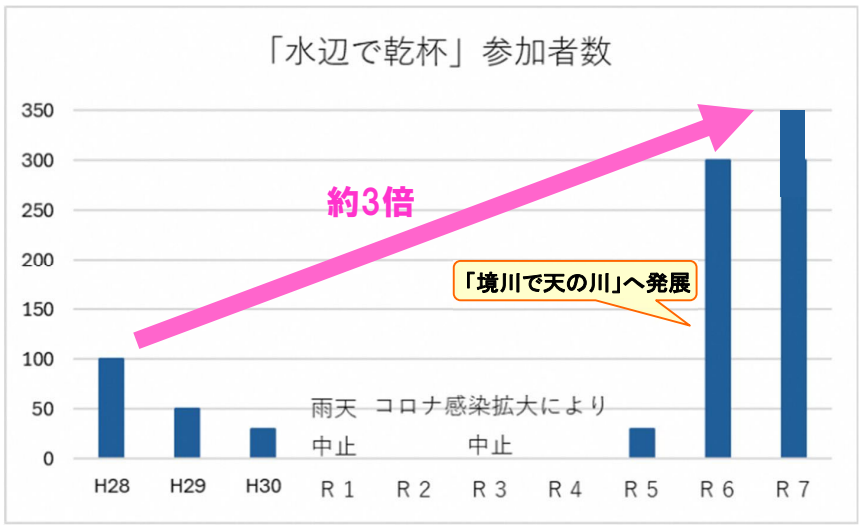
	一般市民	関係者
成果	● 活動への賛同・協力意欲の芽生え	● 情報共有の円滑化 ● 信頼関係の強化
課題	● 市民参加の場づくりが必要	● 意思決定フローの不安定さ ● かわまちづくりの認知度向上と担い手拡大の必要

- 関係者・市民双方でかわまちづくりへの意識と連携体制が着実に進展
- 今後は「日常利用の仕組みづくり」「運営体制の整備」「認知度と共感のさらなる向上」が重要なテーマとなる

4.分析・評価

定量的評価

①社会実験の参加者数の推移



令和5年7月7日の様子

令和7年7月7日の様子

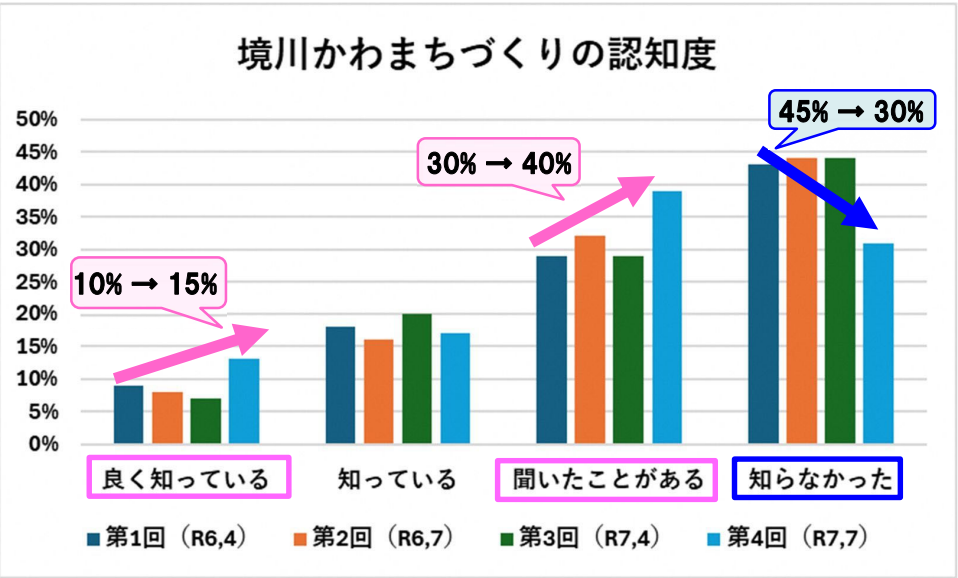
4.分析・評価

定量的評価

②「境川かわまちづくり」認知度の推移

【アンケート概要】

回	方法	件数
1	・紙アンケート（聞き取り）	68件
2	・紙アンケート（聞き取り）	74件
3	・紙アンケート ・WEBアンケート	91件
4	・WEBアンケート	82件



公益財団法人 リバーフロント研究所

4.分析・評価

定量的評価

- 社会実験の参加者数の増加
- 「境川かわまちづくり」認知度の増加

➢ 境川かわまちづくりが地域に広がりつつある

4.分析・評価

総合評価

成果

① 継続的な社会実験等により市民の関心は前進

② 関係者間の信頼関係の構築

今後の課題

① 日常的に水辺を活用できる場づくり

② 市民主体の運営強化

③ 認知度・共感のさらなる浸透

発表の内容

1.研究の背景

2. 計画の概要

3.社会実験の概要と分類

4.分析・評価

5.今後の課題と方向性

5.今後の課題と方向性

①日常的に水辺を活用できる場づくり

現状

・イベント中心で、日常的な関わりは限定的

なぜ「日常利用」が必要？

- 境川は市街地を流れる身近な河川であり、地域の暮らしと自然をつなぐ貴重な空間になっている。
- 境川沿いに人が集まることで、地域のつながりが生まれ、イベントだけでなく普段からにぎわいが生まれることで地域経済の活性化につながる
- 水辺が日常的に使われるようになることで、まちの景観が整い、地域の魅力が引き立つ。

方向性

・日常的な利用を促すベンチ・日陰・遊歩道等のハード整備
・境川沿いの案内サインや季節の見どころ紹介等のソフト整備
・マルシェ、ワークショップ等の市民参加型イベントの定期開催

5.今後の課題と方向性

②市民主体の運営体制の強化

現状

・役割分担や意思決定の仕組みが曖昧

なぜ「市民主体」が必要？

- 市民が日常的に関わる空間としていくため、 整備や活用には市民の視点が必要。
- これまで市民主体で活動などが継続的に行われ、かわまちづくりを通じて団体同士の連携が進み、活動の広がりが生まれてきていることから、今後も市民主体での推進が重要である。

方向性

・市民・団体・行政それぞれの役割と判断の流れを見える化

5.今後の課題と方向性

③認知度と共感のさらなる向上

現状

- アンケート結果から一定の認知は進展
- 「境川かわまちづくり」を「知らなかった」層が依然として3割以上存在

なぜ「認知度と共感」が必要？

- 認知が広がり、共感が得られることで、活動の担い手が増え、団体同士の連携や市民の自主的な関与が促進される。

方向性

- 境川かわまちづくりの目的や活動内容を伝えるパンフレット等の作成
- SNSや地域メディアを活用した定期的な情報発信
- 境川をテーマにした地域の学校との連携授業　など

5.今後の課題と方向性

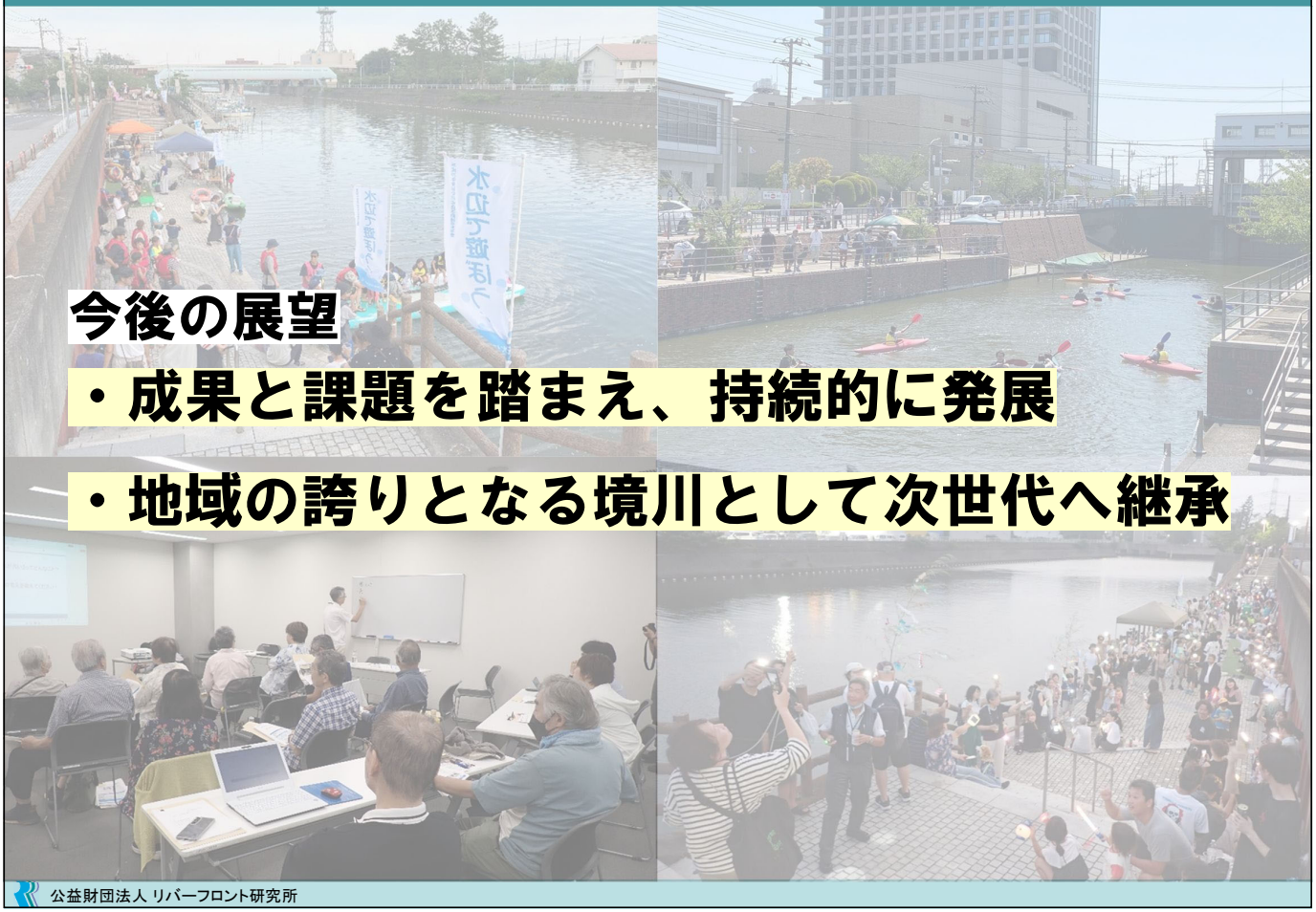
①日常的に水辺を活用できる場づくり

②市民主体の運営体制の強化

③認知度と共感のさらなる向上

境川かわまちづくりの持続的な発展

最後に



今後の展望

・成果と課題を踏まえ、持続的に発展

・地域の誇りとなる境川として次世代へ継承

おしらせ

境川かわまちづくり

【浦安】境川かわまちチャンネル

【公式】境川かわまちづくり

@SAKAIGAWA_KAWAMACHI

R7年3月30日に開催された
“境川かわまちづくり登録記念シンポジウム”の
スペシャルレポート公開中！

境川かわまちづくりの
イベント情報などを
随時更新中！

ご清聴ありがとうございました